



インバウンド本格再開特別企画

貸切バス利用・弾丸下見会

「大阪スペシャル！」



2023年9月8日(金) 終了報告

“弾丸下見会”はガイド同士で貸切バスを仕立てて、経験や情報を共有しながら、一緒に一気に下見をしようという企画です。車窓や移動の距離感を体感するとともに、貸切バスならではのコースを設定。参加者それぞれの目的に応じて下見するもよし、「案内人」が一例として共有する工夫や経験を聞いて参考にすることもよしの下見会です。

9月8日(金)、台風13号の影響も心配されましたが、各地からご参加の30名(会員21名、非会員9名)と案内役の会員2名(第三支部・広石万佐子、第一支部・伊藤淳子(運営担当))が、一日かけて大阪をせっせと下見しました。08:30 新大阪駅出発、19:00 少し過ぎに大阪駅に帰着解散となりました。

新大阪駅を出発してまもなく淀川にさしかかると眼前には川向うの梅田のビル群が見えてきます。いよいよ中心部へというタイミングでもあり、話したいこともたくさんですが、ここは車窓の注目ポイントの一つ。中でも、市内を走っている時には他のビルに隠されてよく見えない梅田スカイビルの特徴的なデザインが迫力をもつてのぞめます。逃さず案内したいものです。

御堂筋線の電車も通る新淀川大橋を渡り、まずは大阪の目抜き通りといえる御堂筋沿いに南下します。大阪や東京のような大都市では、走行中にははっきりと「ここは●●のエリア」と言えない難しさがありますが、梅田界隈から中之島、心齋橋、なんばと、キタからミナミへ、エリアごとの雰囲気や距離感を確認できました。美しい銀杏並木、高級店などが整然と並ぶ御堂筋から一本入れば、あの賑やかな心齋橋筋や戎橋筋の商店街があること、一瞬見える道頓堀など、コントラストを逃さず見せるには心の準備がいることも実感しながらの移動でした。

最初の下見地はクルーズの寄港地観光によく含まれる四天王寺。境内への出入口は複数あり、交通手段によっても変わるところですが、今回は短時間ならバス乗降が可能な南大門からの動線を確認しました。中心伽藍は五重塔・金堂・講堂が直線上にならぶ「四天王寺式」といわれる配置で回廊に囲まれ、出入口は一か所。五重塔の内部も公開されていますが、靴を脱ぐこと、上階へはらせん状の階段がある事を考えると希望者のみとした方が無難そうです。中心伽藍の外、戦災を免れた六時堂など境内を一回りし、宝物館、浄土庭園はそれぞれ独立した入口があることなど案内の手順を確認できました。建物の多くは戦後の再建ですが、由緒や絵伝のテーマを手がかりに、様々な切り口からご案内できそうです。

団体バスであべのハルカスの展望台ハルカス 300 を利用する場合には、セットでバス駐車場の予約をするのが通例です。おしゃれに整備された天王寺公園東のエントランスエリア「てんしば」のバス駐車場から動線を確認しました。





阿倍野歩道橋で交差点を渡る際には、階段を避けるルートとして近くのビルのエスカレーターを使いました。ハルカス2階→16階のエレベーター定員は60名！16階でガイドまたは添乗員がチケット手続きをする間、団体は待機場所へ誘導されます。ゲート（QRコード式）があるため、チケットを全員に配布してから進みます。

3フロアからなるハルカス300からは、さすがの眺望。曇天のおかげでかえってディテールがよく見え、主要なエリアの位置関係がよく分かりました。つい先ほどまでいた四天王寺、これから行く新世界、駐車場のあった天王寺公園が足下によく見え、距離感もつかめます。通ってきた御堂筋は？大阪城公園は？と一同目を凝らします。お客様に聞かれる場所は、見えても見えなくても答えられるように方向を確認しておくことが大事。大阪万博会場となる夢洲、フンデルトヴァッサーのゴミ処理施設がある舞洲、コスモタワーがある咲洲、赤いトラス橋の港大橋など、ベイエリアを走る際に気になるランドマークや、遠くPLの塔（大平和祈念塔）も確認できました。だんだん視野も広くなり、あの山の向こうは？など熱心に探求が続きました。



急な雨の中、ハルカスから新世界までは徒歩で移動しました。ジャンジャン横丁を通り、金色のビリケンさんがそこかしこに現れる中心部へ。バスの場合の乗降場所はいくつか考えられますが、バス会社さんやドライバーさんによっても判断の分かれるところ。その都度の打ち合わせが肝要です。通天閣の各施設への入場は待ち時間にも要注意と確認し、まちなか案内所で資料をピックアップして昼食休憩へ。屋台風の串カツあり、ランチでもお通し代やドリンクオーダーが必須の店あり、経験を通じて学びました。何かを食べる目的の場合と、雰囲気を楽しむ散策の場合とで時間も歩き方も変わる場所ですが、トイレ問題も重要です。

20分強程度のドライブで、繁華街から住宅地へと雰囲気が変わり、やがて、路面電車も走るちょっとトロロな通りへ。幾基もの大きな石灯籠が通り沿いに並ぶ住吉大社に到着します。緑豊かな古社には本殿4棟、摂末社あわせて27社あり、その他にも絵になる反橋など見どころも話題もたくさんあります。公式ホームページでも約20分の正式参拝コースに加えて、各種お願いにあわせた参拝コースを紹介しているほど。時間やお客様にあわせて様々な案内ルートが考えられる中、今回は初辰参りや五大力も話題にしながら、境内を大きく回って下見しました。人気スポットのおもかる石を持ち上げてみた方、願いは叶いそうでしょうか。実際にやってみた後では、お客様への説明もより具体的になるでしょう。



住吉大社からは途中で高速に乗って中心部へ。大渋滞中のため、ベイエリアを通るのは避けましたが、環状線を経由して、視界の開ける中之島周辺の車窓に注目して走りました。



大阪城公園では、降車のみ可能な大手門から入り、天守閣を経由して城南駐車場から乗車する通り抜け型で下見しました。バス団体の場合には、通り抜けとするか、城南駐車場からの往復とするか、諸事情によって指定される場合もありますが、ガイドの選択に任される場合もあります。それぞれのルートと見どころ、歩く距離、注意点を確認しながら自分ならどうする?を考えます。

天守閣にはこの日もチケット購入の待ち列ができていました。(団体は窓口を利用できます。) 天守閣を案内する場合の要領や、集合するのにちょうど良い場所など、案内役の経験談も交えて注意するポイントを共有しました。少しの自由時間の間に各自でMIRAIZA OSAKA-JO もチェック。お店や体験施設、ちょっと何かを食べられる場所は、できるだけ多く知っていたいものです。

そろそろ足も棒ですが、次は大阪を代表する道頓堀界隈へ。

日本橋バス乗降場で降車し、道頓堀～戎橋(宗右衛門町・心齋橋筋・戎橋筋)～法善寺横丁～千日前～道具屋筋～なんさん通り(オタロード・でんでんタウン)～黒門市場とぐるっとまわって日本橋乗降場へ戻りました。



食事や買い物など決まった目的がない「街歩き」的な観光の場合には、どこをどう案内するかガイドに任される部分も多く、写真スポットや話題も含めて色々なコース取りの選択肢をもっておきたいところ。公共交通機関の駅も多く、ハイヤーの場合を含めて、個人のお客様ならさらに的をしぼったルートを幾通りも考えておきたいところです。

最後は梅田スカイビルの空中庭園展望台へ。屋外展望台で風にふかれながら、黄昏の大阪を今度は北から眺望して、本日の復習となりました。久しぶりに来たという方も多く、展望台入口に至るまでのやや長いアプローチの確認にも熱心でした。低層階と展望台入口を結ぶエレベーターは大型ではなく、待ち行列ができる事も多いこと、シースルーのため苦手な方もいること。そんな場合のプランBは・・・?



予定の19:00を少しまわって大阪駅(梅田)に到着。一日お世話になったドライバーさんも協力的で、参加者それぞれが、大阪駅のバス乗降場所を質問したりしつつお別れしました。

何度も来たところでも発見があった、ベテランも新人も苦手意識をもちながら努力しているとわかって刺激になった、ガイド同士で情報交換しながら下見できた、などの感想が寄せられています。

雨や渋滞などハプニングもありましたが、参加者皆様のご協力ではほぼ行程通りに無事に終了することができました。お世話になった関係各所の皆様にも感謝申し上げます。



弾丸下見会担当